

THE RECORD

2

1998
No.459

- 著作物再販 規制研が報告書を公表
- 第12回日本ゴールドディスク大賞授賞式実施内容決定
- 1997年レコード生産実績(最終)
- 統計資料 - 1997年1月~12月新譜数

著作物再販 規制研が報告書を公表

公正取引委員会の「政府規制等と競争政策に関する研究会」（座長・鶴田俊正専修大教授）は、1月13日付で著作物の再販売価格維持制度の見直しに関する報告書を公表しました。

報告書は、消費者利益の確保を重視する競争政策の観点からは「再販制度を維持する理由は乏しく、基本的に廃止の方向で検討されるべき」と結論づける一方、制度が果たしてきた著作権者の保護など文化・公共的な役割に配慮する必要があるとの立場から「直ちに廃止することには問題がある」としています。

しかしながら各品目別の内容詳細においては、新聞は「企業間の競争が激化しやすい、言論機関としての安定性・消費者への確実な戸別配達が重要であり、販売店・発行会社の経営に対する影響は十分配慮は必要である」、書籍・雑誌は「再販制度が業界に果たしてきた役割を考慮し、慎重に対処しなければならない」として、各業界に対する再販制度の重要性も一部肯定しています。しかしながら音楽用CDについては、「著作権者や実演家の権利保護のあり方に不測の影響を及ぼすことがないか、慎重に検討する必要がある」とし、同じ著作物でも偏重した内容の記述となっています。さらに「他の品目に比べ市場原理に対応する能力はある程度整っていると評価できる」との指摘もあり、大きく不安を残すものとなりました。

今後公取委は、著作権法を所管する文化庁などと調整に入りますが、3月末の結論集約に向けて、業界としての存続運動は一段と重要性を増しています。

翌14日に当協会は、この報告書に対する協会長名のコメントを発表するとともに、1月26日付で以下を基本的な見解とする意見書を公取委委員長宛に提出しました。

報告書に対する基本的な見解

レコード、音楽用CD等（以下、レコード）の再販制度について、われわれはこれまで研究会主催のヒヤリングの場や意見書・要望書を通じて、日本の音楽文化や音楽教育の観点からだけでなく、当然のことなが

ら競争政策の観点からも、具体的且つ論理的にその必要性を説明してきた。しかしながら、1月13日に公表された報告書が競争政策の観点からは「制度を維持すべき理由に乏しく、基本的には廃止の方向で検討されるべきもの」としていることは、極めて不満である。

1. 検討・取り纏めに当たった研究会メンバー並びに事務当局の努力には敬意を表するものであるが、再々にわたるわれわれの要望にも拘わらず、研究会メンバーとして音楽関係者の参加が見送られたことから、総じてレコードに関する内容は事実の認識に誤りがあり、したがって、それらを前提として制度の廃止の方向を示している報告書は、到底容認できるものではない。
2. レコードの再販制度については、われわれはこれまで①時限再販制の導入②多様な価格帯による発売③返品・廃盤商品のリセール（廃盤セール）と自主的・積極的に改善を進めてきた。しかしながら、そのことが真に理解されていないばかりか、他の品目に先駆けて取り組んできた是正努力を、市場原理に対応する能力が整ったとして、あたかも制度廃止に問題がないかのごとき論旨は、誠に不快といわざるをえない。
3. 「著作物再販制度が果たしている機能、特に憲法が保障する表現の自由等を背景とした文化的・公共的観点を踏まえて、総合的に十分考慮する必要がある」との内容は評価できるものの、その必要性の内容を「著作権者等の保護」の観点に限っていることは、検討すべき方向が偏重し、総合的且つ十分に考慮することにはならず、問題は極めて大きいといえる。

この度の「報告書」に接し、われわれは引き続き多様で良質なレコードの提供と消費者サービスの一層の向上に努めることを確認する。しかしながら再販制度の存廃については、「音楽用CD等の再販制度がこれまで果たしてきた機能からみて」、正に「真に検討する必要がある」（引用）、ここに改めて十分な検討を要望する。また引き続き、制度存続について広く理解を求めていく所存である。

音の日記念「日本プロ音楽録音賞1997」 授賞式開催

(社)日本オーディオ協会、(社)日本音楽スタジオ協会、(社)日本レコード協会、日本放送協会の主催、ならびに(社)日本民間放送連盟の協賛で毎年「音の日(12月6日)」に行われる「日本プロ録音賞授賞式」が、5日に東京・虎ノ門パストラルにて開催されました。録音エンジニアにスポットを当てた本賞もすでに4回目を迎え業界における認知度も確立してきました。内外の審査員による厳正な審査の結果、以下の録音エンジニアがそれぞれの部門の作品を対象に表彰されました。

《国内審査の部》(敬称略)

1. オーディオアコースティック部門
 - ・曲目「R. シュトラウス：万霊節」
アルバム「ロマンス」から
須貝孝男、星野直人(キングレコード(株))
 - ・曲目「Edge of Sky」 アルバム「にじ」から
石野和男、法林淳一、高取好克(株バップ)
2. オーディオ・ノンアコースティック部門
 - ・曲目「endless wave」シングル
増田 晋、吉越晋治、安藤 明
(キングレコード(株))
 - ・曲目「Dynamite」シングル
秋元秀之、関根青磁、川崎 洋
(ビクターエンタテインメント(株))
 - ・曲目「CAT on the Street」アルバム「paradox」から
原 裕之、小岩孝志、山下景子、原田光晴
(株)ミキサーズラボ
3. オーディオビジュアル部門及び放送作品部門
 - ・番組「サンデースペシャル」
東京佼正ウインドオーケストラ ライブ
廣瀬 毅、駒井竜太郎、杉本 誠
(株)毎日放送

《海外審査の部》

- ・曲目「R. シュトラウス：万霊節」
アルバム「ロマンス」から
須貝孝男、星野直人(キングレコード(株))
- ・曲目「Dynamite」シングル
秋元秀之、関根青磁、川崎 洋
(ビクターエンタテインメント(株))

オーディオカセットテープレコードの 表示規格の改正・発行

当協会技術委員会(委員長・富塚理事)では、日本レコード協会規格「オーディオカセットテープレコードの表示事項及び表示方法」(RIS306)を1月27日付で改正・発行しました。

これまでの規格は、1992年12月に改正されたもので、標題を「オーディオテープレコード」としていましたが、最近では「カートリッジテープ」がほとんど生産されていないため、今回の改正から規格書の標題を「オーディオカセットテープレコードの表示事項及び表示方法」と変更し、規格の対象を「カセットテープ」に限定しました。

また、今回の改正では、すでに1997年6月に発行された「オーディオCDの表示規格」と同様に、1997年4月1日からの消費税率の変更と海賊版などの違法行為に適切に対応するために、関係項目の整備に主眼を置きながら、かつ、消費者に対してより判りやすい表示の内容・方法に改めたため、規格書の体裁を含めて、規格書全体の見直しを行いました。

なお、主な変更点は、以下のとおりです。

- ①規格対象を「カセットテープ」に限定したため、本文及び解説の「カートリッジテープ」に特有な部分は削除した。
- ②1997年4月1日からの消費税率の変更に際しては、「表示カルテル」が認められていないため価格の具体的な表示例は削除した。
- ③従来、価格と近接して表示していた“再記号”と“再販価格適用期限(年月日)”を“発売年月日”と近接した位置に表示することとした。
“①表示”については、各曲の“最初の発行年”が異なるときは、各曲ごとに対応する発行年を表示することとした。
- ④カセットテープJISの1993年の改正で追加された事項であるため、今回表示事項として“製造番号又はロット番号”を追加した。これは、テープの製造工場が独自に付番するもので、クレーム要因を製造工程から追跡するための番号である。
- ⑤“注意事項”については、“レコードの表示に関するガイドライン”(1995年6月制定)から関連する事項を採用した。

第12回日本ゴールドディスク大賞授賞式実施内容決定

当協会では、恒例となりました「日本ゴールドディスク大賞」の第12回授賞式を以下の通り実施します。

当協会では、昭和62年から「日本ゴールドディスク大賞」を制定し、当該年度のレコード産業に大きく貢献したアーティスト及び作品に対し「大賞」ほか「各賞」を贈呈・顕彰してきました。この賞の特色は、「選定基準を客観的な正味売上数字だけとする」ことであり、この基準で過去11回を実施しました。

今回の第12回からは、①複雑だった各賞の名称変更とシンプル化を行う②授賞作品としてミリオンセラーを中心とした賞の設定への変更をする③その各賞授賞アーティストを候補とし、多くの音楽業界に携る方々からの投票で、97年度最も活躍したと思われるアーティストに贈られる賞をアーティスト・オブ・ザ・イヤーとして新設する。以上の改定を行いました。

昨年同様授賞式はセレモニーと授賞アーティストによるライブ演奏とで構成され、その模様はNHK衛星第2放送で生中継されます。

なお、以下の要領にて一般の方の観覧ご希望を受け付けておりますので、併せてご案内させていただきます。

記

日時 平成10年3月4日(水)

会場 NHKホール (東京・渋谷)

観覧申込方法 (観覧無料)

官製往復はがきの往信用裏面と返信用表面に、郵便番号・住所・氏名を明記してお申し込み下さい (1枚で1名分)。

宛先 〒150 東京都渋谷区宇田川町41-1

NHKサービスセンター

「第12回日本ゴールドディスク大賞授賞式」

公開係

締切 平成10年2月20日(金)必着

(申込多数の場合は抽選となります)

放送予定・NHK衛星第2テレビ

平成10年3月4日(水)午後8時～

・NHK総合テレビ

平成10年3月7日(土)午後11時～

問合せ先 (社)日本レコード協会

TEL 03-3541-4411

第12回日本ゴールドディスク大賞各賞一覧

○ベスト・ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー	(新人 邦楽5組、洋楽1組)
○ベスト・ソング・オブ・ザ・イヤー	(シングル 邦・洋各1作品)
○ベスト・クラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(アルバム ミリオンセラー又はジャンル内で売上が最も高い)
○ベスト・ジャズ・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(〃)
○ベスト・インストゥルメンタル・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(〃)
○ベスト・ロック・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(邦楽アルバム ミリオンセラー又はジャンル内で売上が最も高い)
○ベスト・ポップ・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(〃)
○ベスト・インターナショナル・ロック・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(洋楽アルバム ミリオンセラー又はジャンル内で売上が最も高い)
○ベスト・インターナショナル・ポップ・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(〃)
○ベスト・演歌/歌謡曲・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(アルバム ミリオンセラー又はジャンル内で売上が最も高い)
○ベスト・純邦楽・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(〃)
○ベスト・企画・アルバム・オブ・ザ・イヤー	(〃)
○ベスト・ミュージック・ビデオ・オブ・ザ・イヤー	(音楽ビデオ 邦・洋各1組)
○アーティスト・オブ・ザ・イヤー	(「ベスト～アルバム・オブ・ザ・イヤー」授賞アーティストに対し、媒体・販売店の方々合計1,210人から投票してもらい、その結果 最も票数の多かった邦・洋各1組)

その他

1997年レコード生産実績(最終)

1997年(1~12月)の当協会加盟29社、オーディオレコード、AV複合型レコード及びビデオレコードを合わせたレコード総生産は、数量6億8,426万枚・巻(前年比115%)、金額7,318億円(前年比101%)となりました。前年対比では上回ったものの昨年に引き続き、2年連続で低い伸長となりました。

オーディオレコードの生産数量は、4億8,071万枚・巻(前年比102%)、金額は、5,880億円(前年比101%)となりました。

その内訳は、主力のコンパクトディスクが数量で4億5,714万枚(前年比102%)、金額で5,671億円(前年比101%)となりました。また、オーディオテープは数量で横這い、金額で10年連続で前年割れとなりました。

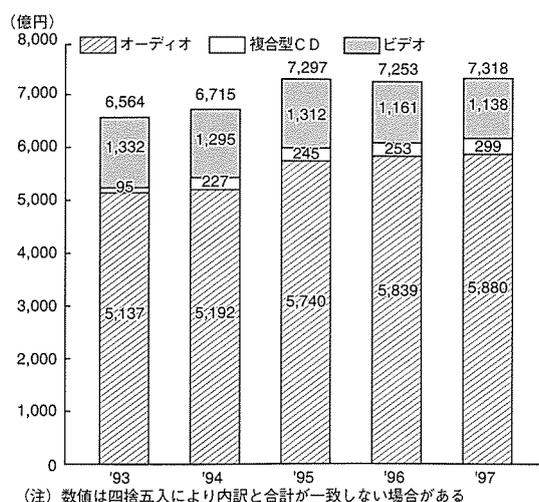
AV複合型レコード(CD-ROM、CDグラフィックス、ビデオCDなど)の生産は数量1億6,909万枚(前年比199%)、金額299億円(前年比118%)となり、昨年を上回る伸び率ですが、数量の伸びに比べて金額ベースでは伸び率が低く、昨年同様低価格化傾向が続いています。

ビデオレコードは、数量3,446万枚・巻(前年比98%)、金額1,138億円(前年比98%)となり、テープは金額で前年比較で7%増、ディスクは20%減となりました。

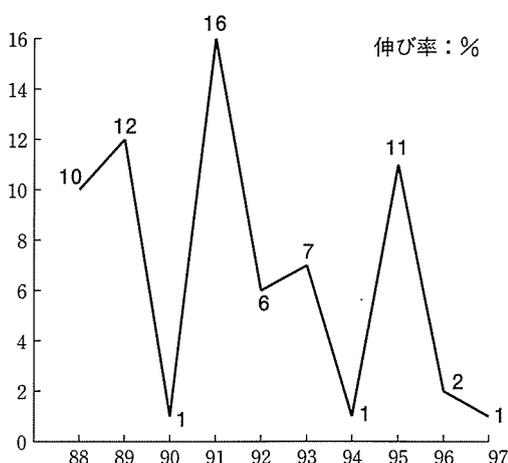
1997年1~12月のレコード総生産高

種類	数量 (十万枚・巻)	構成比 (%)	前年比 (%)	金額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)
オーディオレコード	コンパクトディスク	4,571	67	102	5,671	77
	アナログディスク	10	0	110	14	0
	小計	4,582	67	102	5,684	78
	テープ	225	3	100	196	3
	合計	4,807	70	102	5,880	80
AV複合型レコード	1,691	25	199	299	4	118
ビデオレコード	ディスク	116	2	89	308	4
	テープ	228	3	103	831	11
	合計	345	5	98	1,138	16
総合計	6,843	100	115	7,318	100	101

1. レコード生産金額推移



2. オーディオレコード生産金額伸び率推移



その他

1998年当協会新年会開催

今年も業界に先立って1月6日（火）午後4時から、東京都千代田区永田町のキャピトル東急ホテル「真珠の間」において、恒例の当協会新年会が盛大に開催されました。

当日は、国会議員の方々をはじめ、関係諸官庁、マスコミ、関係団体、販売流通界から多数の方々が出席され、例年同様一切のセレモニーを省いて、賀詞交換とご歓談の場として、和やかな一時を過ごしました。

会員各社の出席者を含め、約640名の方々が一堂に会し、新年の挨拶を交わし合い、晴れやかな新年会となりました。

また、来年1999年の新年会は、1月6日（火）午後4時から同じ会場で開催予定です。

なお、政務ご多忙の中、ご出席いただいた国会議員は、荒木清寛、大口善徳、小野清子、小杉隆、小林興起、斉藤斗志二、櫻内義雄、浜四津敏子、村上誠一郎の9名の先生方です。（五十音順）



カラオケ対策委員会 CF 提供で 不法録音撲滅をPR

カラオケ対策委員会では「不法録音カラオケテープ撲滅キャンペーン」の一環として、遠藤 実氏（社団法人日本音楽著作権協会会長）が出演する著作権啓蒙CF（30秒）を制作、年末の歌謡曲・演歌商品拡売期に併せ、2つの歌謡番組にスポンサーとして提供しました。

番組は、12月20日NTV系列東北6県及び1月15日NTVで放映されたテレビ岩手主催の「みちのく演歌まつり」で、2回のCFを流しました。また収録会場の盛岡市・岩手産業文化センター「アピオ」では、先に製作した啓蒙リーフレットを約4,000枚配布しました。

またテレビ東京主催「第30回年忘れにっぽんの歌」にも、2回の番組提供（12/31T X系列全国6局ネットに生放送）、啓蒙リーフレット約1,600枚の配布を会場の東京・明治座で行いました。

97年ミリオンセラー作品数

当協会は2月3日付で、97年のミリオンセラーアルバム27作品、シングル作品17を公表しました。

制度導入以来10年間のミリオンセラー数の推移は以下の通りです。

	アルバム作品数				シングル作品数	
	M	2M	3M	4M	M	2M
89年	2					
90年	2	1			2	
91年	3	3			1	2
92年	5	5			6	1
93年	6	2			14	1
94年	10	3			15	1
95年	18	4			21	1
96年	10	5	1	1	22	1
97年	16	8	2	1	16	1

1. 期間は1月21日から翌年1月20日まで。
2. 当該期間中に発売し、当該期間中にミリオン以上に認定された作品数。
3. M—100万枚以上200万枚未満の売上作品。
 2M—200万枚以上300万枚未満
 3M—300万枚以上400万枚未満
 4M—400万枚以上500万枚未満

会議メモ（主なもの）

- (1月1日～1月31日) 1・20
- 1・6 新年会
 - 1・8 日本G D大賞審査部会 1・21
 - 1・9 法制委員会WG
 - レコード制作基準倫理委員会
 - 1・13 JASRAC委員会・交渉会議 1・22
 - 洋楽宣伝専門部会 1・23
 - 営業部会
 - 1・14 著作隣接権審議会作業部会 1・27
 - 再販プロジェクト

- ミュージックPOD研究会議
- 日本G D大賞申請担当者説明会
- 著作権部会 1・28
- カラオケ対策委員会合同プロジェクト
- 技術委員会 1・29
- インターネット部会WG
- 業務委員会
- 資材専門部会
- JASRAC交渉会議
- 音楽家ユニオン委員会
- 宣伝部会
- 二次使用料研究会 1・30
- 情報システム部会
- 技術委員会

- 法制委員会
- 日本G D大賞審査部会
- 法制委員会WG
- ビデオ部会
- カラオケ対策委員会合同プロジェクト
- 日本G D大賞幹事会・演出部会合同会議
- 二次使用料研究会
- 再販プロジェクト
- 邦楽制作部会
- 洋楽部会
- 理事会
- 品質管理専門部会
- 再販懇全体会議

EU著作権指令にIFPIが異議

IFPI（国際レコード産業連盟）は12月10日、ヨーロッパ委員会が採択したEU著作権指令の提案は、著作権侵害に対する音楽産業の保護を奪い去る可能性があり、ヨーロッパ議会と評議員会に提案される前に修正されるべきであると、述べました。

提案はその欠陥の故に、デジタル時代における音楽産業の権利執行力を弱め、デジタル海賊版の危険性を拡大することになりかねないため、IFPIは、この問題が改善されるよう活発な活動を展開します。

IFPIは、1996年のWIPO（世界知的所有権機関）国際著作権条約を実効性のない状態で実施することは、情報化時代をリードする重要産業の1つであるレコード産業の著作権保護を否定することを意味するとも述べています。

IFPIは指令について以下の欠点を指摘しています。

- ・デジタル環境における私的複製の問題を扱っていない。デジタル私的複製は、販売に匹敵する機能と経済的意味があるが、それについてのルールの調和が図られていない。委員会は、EU加盟諸国に私的録音のルール作りを委ねたため、音楽や他の著作権産業が情報社会の中で作品の使用を管理するための技術的コントロールの開発を更に困難にさせた。

- ・指令が全ての迂回装置を禁止していないため、迂回が多目的機器の付属機能である限り、技術的手段はその役割を果たし得ない。このことは、「ハッキング」機器産業を発展させ、オンライン音楽市場の重大な要素になる業界規格の発展を大いに妨げるだろう。

- ・マルチチャンネルと会員制サービスのための排他的権利がない。指令はレコード製作者にオンデマンド、双方向、送信についてのみ排他的権利を与えている。デジタル時代に消費者への送信手段の主流となるマルチチャンネルや会員制サービスに、音楽産業が投資するためには、この分野にも排他的権利が認められるべきである。

- ・媒介者による著作権侵害責任に関する不十分な取り扱い。指令は、極めて曖昧な制限で全ての一時的複製を許容することで、遠隔通信業者とオンラインサービス・プロバイダーの責任を別の指令で扱おうとしていた委員会の本来の意図を変更している。

IFPIのガーネット氏は以下のように述べました。「この指令は情報社会の著作権保護のために準備されたと思っている。権利を実施する基盤を取り除くことにより、レコード産業の権利を剥奪している。

指令は、著作権と合法的なハードウェア業者のニ

ーズを満足させ、違法業者を許さない、技術的解決を調整するべきである。現在の指令には、合法と違法業者に対する区別がなく、その点を変更すべきである。」

BIEM標準契約、合意間近

BIEM-IFPIの新契約（欧州大陸での録音使用料率）が、近々合意に至る見通しです。この合意が実現すれば、前回契約の有効期限が96年末に切れてから初めての正式な合意になります。

レコード会社は、交渉内容についてはコメントを避けていますが、今年のクリスマスから交渉が再開されたことは認めています。

双方の代表は、IFPIとBIEM（ヨーロッパ録音権団体）が務めています。合意期限終了時後、レコード会社は、前回レートであるPPD（仕切価格）の9.306%の使用料を紳士協定に基づいて支払ってきました。

IFPIとBIEMは、今後3年間にわたる新標準契約の主な点について合意しましたが、最終的な文書の合意には、双方の理事会の承認が必要になります。

BIEMはコメントを差し控えましたが、クリスマス前にIFPIの広報は「交渉中だが、未だ合意にいたっておらず、レートについても何も公表できない」と述べました。

しかし、情報筋によると特別な交渉を要する特定分野を除いて、遅くとも、1月中旬に署名され、2月15日までには発効するだろうとのこと。今回の合意は、遡及効によって1997年1月から2000年末まで適用されます。

また、情報筋は新合意につき以下のように述べています。「新契約内容の主な点は前回と同じだが、レートはPPDの9%位（前回、9.306%）まで引き下げられるだろう。しかし、新合意では市場慣行に基づいた調整がなされるだろう。例えば、プロモーションのためのフリー・レコード（無料で小売店に提供されるレコード）は、過去よりも増えるだろう。しかし、最低使用料は原則的に維持されるだろう。」

録音権団体に近い筋は、「レコード会社の圧力は非常に大きかった。我々も抵抗したので、合意を見いだすまでに時間を要した。」と述べています。

ビルボードは、この交渉はIFPIがリードしたと考えています。IFPIの前回交渉では、作家団体の結束力の弱さを探し出し、ヨーロッパ全土ベースよりも各国毎の基準に基づいて話し合うという戦略が採られました。

（ビルボード98/1/24）

HIT CHART DATA 1997年12月度(97年11月21日～97年12月20日)

レコード正味売上げに基づく当協会オフィシャルデータ。

順位	タイトル	アーティスト	発売日	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル BEST7				
1.	Dreaming I was dreaming	安室奈美恵	97.11.27	AVT
2.	White Silent Night	SHAZNA	97.12.3	BMG
3.	運命の人	スピッツ	97.11.27	PO
4.	MOTHER/ネホリーナハホリーナ	PUFFY	97.12.12	SME
5.	My Baby Grand～ぬくもりが欲しくて～	ZARD	97.12.3	BG
6.	スタミナ	BLACK BISCUITS	97.12.3	BMG
7.	春はまだか	浜田雅功	97.12.12	SME
■洋楽シングル BEST7				
1.	キャンドル・イン・ザ・ウインド 1997～ダイアナ元英皇太子妃に捧ぐ	エルトン・ジョン	97.9.27	MME
2.	パタフライ	マライア・キャリー	97.11.27	SME
3.	ティアーズ・イン・ヘヴン	エリック・クラプトン	97.10.25	WJ
4.	チェンジ・ザ・ワールド	エリック・クラプトン	96.7.25	WJ
5.	ラスト・クリスマス	ワム!	93.11.21	SME
6.	ブリーズ～ライヴ・フロム・ロッテルダム	U2	97.11.24	MME
7.	オンリー・イフ	エンヤ	97.12.10	WJ
■邦楽・洋楽合同アルバム BEST7				
1.	Love	河村隆一	97.11.22	V
2.	SINGLES	LUNA SEA	97.12.17	UV
3.	Such a Lovely Place	槇原敬之	97.11.27	SME
4.	スコアの波	松任谷由実	97.12.5	TO
5.	I・DÉ・A	氷室京介	97.12.10	PO
6.	ペイント・ザ・スカイ ～ザ・ベスト・オブ・エンヤ	エンヤ	97.11.10	WJ
7.	REVIEW～BEST OF GLAY	GLAY	97.10.1	PO
■クラシックアルバム BEST7				
1.	ロマンس	米良美一	97.9.26	K
2.	パストラル ～ロドリゴ・ギター作品集	村治佳織	97.11.21	V
3.	母の唄～日本歌曲集	米良美一	97.9.21	K
4.	とっておきのクリスマス	ドミンゴ 他	97.11.25	WJ
5.	うぐひす ～米良美一 日本を歌う	米良美一	97.7.16	K
6.	クリスマス・アダージョ・カラヤン	カラヤン指揮/ベルリン・フィル	96.10.25	PG
7.	イタリア民謡集～カタリ・カタリ	カレラス	97.12.3	MME
■洋楽アルバム BEST7				
1.	ペイント・ザ・スカイ ～ザ・ベスト・オブ・エンヤ	エンヤ	97.11.10	WJ
2.	ダイアナ・トリビュート～ダイアナ元英皇太子妃追悼アルバム	マライア・キャリー 他	97.12.3	SME
3.	ヘヴン	バンドラ	97.11.21	UV
4.	アンブラグド	ベイビーフェイス	97.11.27	SME
5.	レッツ・トーク・アバウト・ラヴ	セリーヌ・ディオーン	97.11.15	SME
6.	ニムロッド	グリーン・デイ	97.10.10	WJ
7.	MTV アンブラグド	フライアン・アダムス	97.12.5	PO

※AL：アルファミュージック/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス・ディーディー/BG：ビーグラムレコーズ/BM：ルームレコーズ/BME：バンダイ・ミュージックエンタテインメント/BMG：BMGジャパン/C：日本コロムビア/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/EP：ワン・アップ・ミュージック/EW：イーストウエスト・ジャパン/FH：ファンハウス/FL：フォーライフレコード/JE：ジャニーズ・エンタテインメント/K：キングレコード/KT：キティエンタープライズ/ME：メルダック/MME：マーキュリー・ミュージックエンタテインメント/NA：NECアベニュー/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニアLDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/QT：パルコ/RO：ロックイットレコード/SME：ソニー・ミュージックエンタテインメント/TA：ニュートラス/TDK：TDKコア/TE：テイチク/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/UV：ユニバーサル ビクター/V：ビクターエンタテインメント/VAP：パップ/VF：ヴェルファーレ/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/XR：ゼロ・コーポレーション/ZA：ヴァインレコーズ

GOLD ALBUM他 認定作品 1997年12月度(97年11月21日～97年12月20日)

■アルバム (30作品)

【邦 楽】

●4ミリオン

REVIEW～BEST OF GLAY/GLAY/97.10.1 (PO)

●2ミリオン

Love/河村隆一/97.11.22 (V)

●ミリオン

SINGLES/LUNA SEA/97.12.17 (UV)

●プラチナ

Such a Lovely Place/槇原敬之/97.11.27 (SME)

スエアの波/松任谷由実/97.12.5 (TO)

I・DÉ・A/氷室京介/97.12.10 (PO)

●ゴールド

MINI SKIRT/加地秀基/97.1.29 (PS)

ANGRY FIST/Hi-STANDARD/97.5.14 (TF)

Ballade of Ballade/徳永英明/97.11.1 (BME)

伝えたいことがあるんだ/小田和正/97.11.21 (FUN)

CARNIVAL/鈴木雅之/97.11.21 (SME)

Dear/松田聖子/97.11.21 (SME)

on the sofa/Le Couple/97.11.26 (PC)

Grace/田村直美/97.11.27 (EW)

MY LITTLE RED BOOK/MOON CHILD/97.11.27 (AVT)

ステレオ2/山崎まさよし/97.11.27 (PO)

エレファントカシマシ ベスト/エレファントカシマシ/97.12.1 (SME)

THE BARN/佐野元春 and The Hobo King Band/97.12.1 (SME)

謎/小松未歩/97.12.3 (AO)

BALLAD COLLECTION/X JAPAN/97.12.19 (PO)

【洋 楽】

●トリプル・プラチナ

ペイント・ザ・スカイ ～ザ・ベスト・オブ・エンヤ/エンヤ/97.11.10 (WJ)

レッツ・トーク・アバウト・ラヴ/セリーヌ・ディオーン/97.11.15 (SME)

●ダブル・プラチナ

MAX4/ダイアナ・キング 他/97.11.12 (SME)

●プラチナ

RELOAD/メタリカ/97.11.15 (SME)

ダイアナ・トリビュート～ダイアナ元英皇太子妃追悼アルバム/マライア・キャリー 他/97.12.3 (SME)

●ゴールド

スーパースター・クリスマス/マライア・キャリー 他/97.11.12 (SME)

BBCライブ/レッド・ツェッペリン/97.11.15 (EW)

ヘヴン/パンドラ/97.11.21 (UV)

アンブラグド/ベイビーフェイス/97.11.27 (SME)

MTV アンブラグド/ブライアン・アダムス/97.12.5 (PO)

■シングル (21作品)

【邦 楽】

●クワドラプル・プラチナ

WHITE LOVE/SPEED/97.10.15 (TF)

●トリプル・プラチナ

愛されるより愛したい/KinKi Kids/97.11.12 (JE)

●ミリオン

Wanderin' Destiny/globe/97.10.15 (AVT)

●ダブル・プラチナ

幸せな結末/大滝詠一/97.11.12 (SME)

Dreaming I was dreaming/安室奈美恵/97.11.27 (AVT)

●プラチナ

運命の人/スピッツ/97.11.27 (PO)

My Baby Grand～ぬくもりが欲しくて～/ZARD/97.12.3 (BG)

White Silent Night/SHAZNA/97.12.3 (BMG)

スタミナ/BLACK BISCUITS/97.12.3 (BMG)

MOTHER/ネホリーナハホリーナ/PUFFY/97.12.12 (SME)

●ゴールド

待つ女/林るり子/97.6.21 (C)

Private eyes/MY LITTLE LOVER/97.11.12 (TF)

Days/観月ありさ/97.11.19 (AVT)

SNOW AGAIN/森高千里/97.11.19 (EP)

[I] /F-BLOOD/97.11.26 (PC)

1/3の純情な感情/SIAM SHADE/97.11.27 (SME)

promise/広瀬香美/97.11.27 (V)

君と揺れていた/ SOPHIA/97.11.27 (TF)

涙の天使に微笑みを/原由子/97.11.27 (V)

しあわせですか/ウルフルズ/97.12.10 (TO)

春はまだか/浜田雅功/97.12.12 (SME)

レコード生産実績

1997年12月度(97年12月1日～97年12月31日)

1. オーディオディスク

単位：数量：千枚・巻、金額：百万円

	12月実績						1997年(1月～12月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	10,089	27	122	5,213	10	105	166,050	36	102	103,006	18	100
	邦洋計	38	0	32	21	0	50	1,776	0	53	884	0	48
D	邦洋計	10,127	27	120	5,234	10	104	167,827	37	101	103,891	18	99
	邦洋計	19,448	51	132	32,562	65	130	191,499	42	109	321,714	57	106
D	邦洋計	8,341	22	98	11,934	24	96	97,814	21	91	141,473	25	91
	邦洋計	27,789	73	119	44,496	89	119	289,313	63	102	463,187	81	101
D	邦洋計	29,537	78	128	37,775	76	126	357,549	78	106	424,720	75	105
	邦洋計	8,380	22	97	11,955	24	96	99,590	22	90	142,358	25	91
D	邦洋計	37,917	100	120	49,730	100	117	457,139	100	102	567,078	100	101
	邦洋計	57	0	116	84	0	103	805	0	136	1,031	0	134
D	邦洋計	32	0	78	49	0	80	228	0	65	338	0	63
	邦洋計	88	0	99	133	0	93	1,034	0	110	1,369	0	104
D	邦洋計	29,594	78	128	37,859	76	126	358,354	78	106	425,751	75	105
	邦洋計	8,411	22	97	12,004	24	95	99,818	22	90	142,696	25	90
D	邦洋計	38,005	100	119	49,863	100	117	458,173	100	102	568,446	100	101

2. オーディオテープ

	12月実績						1997年(1月～12月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	1,997	99	102	1,684	99	104	22,397	99	101	19,406	99	99
	邦洋計	16	1	60	15	1	55	137	1	54	167	1	55
C	邦洋計	2,013	100	102	1,700	100	103	22,534	100	100	19,573	100	98
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	邦洋計	1,997	99	102	1,684	99	104	22,397	99	101	19,406	99	99
	邦洋計	16	1	60	15	1	55	137	1	54	167	1	55
C	邦洋計	2,013	100	102	1,700	100	103	22,534	100	100	19,573	100	98

3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	12月実績						1997年(1月～12月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦	21,642	100	173	3,889	100	135	168,974	100	199	29,595	99	120
洋	4	0	34	17	0	35	113	0	70	344	1	57
合	21,645	100	173	3,906	100	134	169,087	100	199	29,940	100	118

4. ビデオレコード

	12月実績						1997年(1月～12月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	1,169	33	99	2,920	26	84	11,644	34	89	30,766	27	80
テープ	2,346	67	118	8,340	74	115	22,817	66	103	83,070	73	107
合計	3,515	100	111	11,260	100	105	34,461	100	98	113,836	100	98

5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	12月実績						1997年(1月～12月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	40,018	61	118	51,562	77	116	480,706	70	102	588,019	80	101
複合型CD	21,645	33	173	3,906	6	134	169,087	25	199	29,940	4	118
ビデオ	3,515	5	111	11,260	17	105	34,461	5	98	113,836	16	98
合計	65,179	100	132	66,729	100	115	684,255	100	115	731,795	100	101

備考 1. 本年実績は、会員会社「29社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

1997年1月～12月新譜数

1997年(平成9年)の1～12月に発売された新譜数を集計し、その構成比率を図示しました。

図1 オーディオレコード新譜数構成比

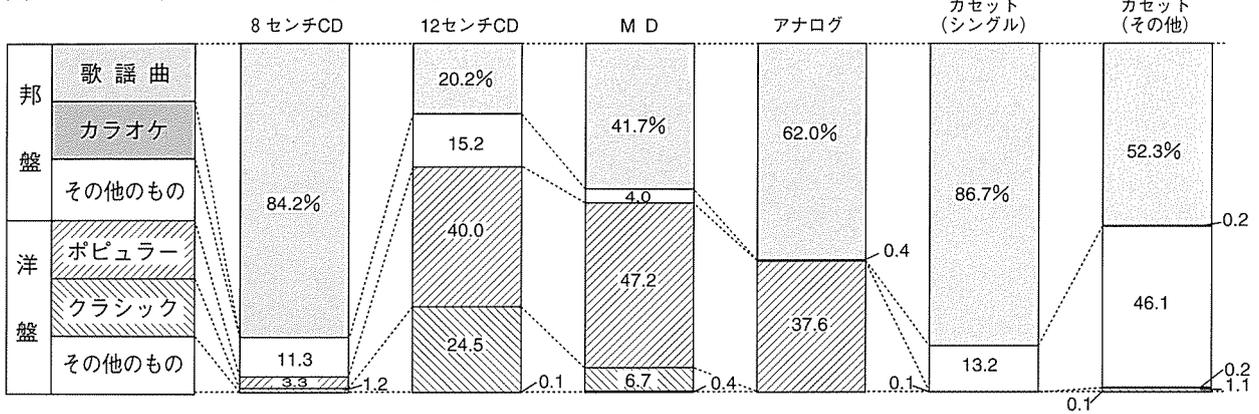


表1 オーディオレコード/複合型レコード(CD-G・CD-Iなど)新譜数

単位:枚(巻)

種別	種類	8センチCD	12センチCD	M D	アナログ	カセット		複合型		合計
						シングル	その他	CD-G	その他	
邦盤	歌謡曲	515	498	1	0	502	494	0	0	2,010
	ポップス	633	646	9	26	46	50	0	5	1,415
	ニューミュージック	900	2,072	95	124	4	17	0	7	3,219
	小計	2,048	3,216	105	150	552	561	0	12	6,644
洋盤	軽音楽	2	462	0	0	3	26	0	0	493
	民謡・純邦楽	32	255	0	0	50	245	0	0	582
	教育・教材・童謡・童話	31	261	0	0	19	125	0	6	442
	アニメーション	195	800	1	0	12	64	0	66	1,138
	クラシック	1	358	9	0	0	8	2	11	389
	カラオケ	0	6	0	0	0	2	107	149	264
	その他	13	284	0	1	0	27	5	116	446
邦盤計	2,322 (96)	5,642 (96)	115 (160)	151 (139)	636 (97)	1,058 (104)	114 (76)	360 (70)	10,398 (96)	
洋盤	ロック・ディスコ	47	3,849	100	35	0	0	0	2	4,033
	ジャズ・フュージョン	2	1,292	4	48	0	0	0	1	1,347
	ポピュラーソング	32	850	9	8	0	2	0	0	901
	映画音楽	0	211	4	0	1	5	0	0	221
その他	0	166	2	0	0	5	0	0	173	
洋盤計	81	6,368	119	91	1	12	0	3	6,675	
洋盤	クラシック	28	3,906	17	0	0	1	0	4	3,956
	その他	0	9	1	0	0	2	0	22	34
洋盤計	109 (86)	10,283 (95)	137 (304)	91 (123)	1 (-)	15 (54)	0 (-)	29 (59)	10,665 (95)	
合計	2,431 (96)	15,925 (95)	252 (215)	242 (132)	637 (97)	1,073 (103)	114 (76)	389 (69)	21,063 (96)	

備考: ()内は対前年比

図2 ビデオレコード新譜数構成比

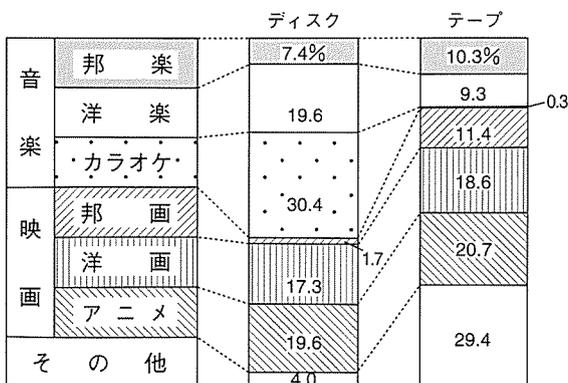


表2 ビデオレコード新譜数

単位:数(巻)

種別	種類	ディスク	テープ	合計
音楽	邦楽	104	319	423
	洋楽	275	286	561
	カラオケ	427	8	435
映画	邦画	24	351	375
	洋画	242	574	816
	アニメ	275	640	915
その他	56	908	964	
計		1,403 (83)	3,086 (107)	4,489 (98)

備考: ()内は対前年比

レコード・CDの再販制度は、 日本の音楽文化を育てています。

再販制度により、日本では数多くの作品が発表されています。

それにより消費者（音楽ファン）には、「商品選択の場」が確保され、
また、多くの作家、実演家には幅広いチャンスが与えられるとともに、
次世代を担う新しい才能が育まれています。

RIA
Recording Industry Association of Japan 1998年2月号

発行人 高野 宏

編集人 木村 三郎

発行日 1998年2月10日

発行 社団法人日本レコード協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F

TEL.03-3541-4411 (代)

FAX.03-3541-4460 (代)

URL:<http://www.japan-music.or.jp/>